

# Haze(ヘイズ/煙害)発生に関する注意喚起

## Hazeとは

Hazeは、特にスマトラ島で大規模に森林を焼くことにより生じた煙がモンスーンに乗って、当国及びマレー半島の一部に流れもたらされる煙害を指します。Hazeによる健康障害の度合い(濃度)を当国では、**PSI (Pollutant Standards Index)** という数値を用いて発表しています。

## PSIの読み方

シンガポール国家環境庁(NEA)は、人体に影響するPSIの水準値について、以下のように公表しています。

PSIの数値( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	健康被害状況
100以下	一般的に影響なし
101~200	<b>(不健康)</b> 心臓疾患や呼吸器疾患を持つ人は、屋外活動を減らす必要あり。一般的な人は、活発な屋外活動を控える必要あり。
201~300	<b>(非常に不健康)</b> 高齢者と既存の心臓や肺疾患を持つ人は、屋内にとどまり、活動量を減らす必要あり。一般的な人は、活発な屋外活動を控える必要あり。
301~400	<b>(危険)</b> 子供、高齢者と既存の病気を持つ人は、屋内にとどまり、屋外活動を避ける必要あり。一般的な人は、不要な屋外活動を避ける必要あり。
400超	<b>(非常に危険)</b> 子供、高齢者と既存の病気を持つ人は、窓等を閉鎖した屋内にとどまり、可能な限り運動を避ける必要あり。一般的な人は、運動量を減らし、屋外活動を可能な限り、減らす必要あり。

## 今後の見通し

- ・PSIの濃度が上がり始めたのは6月中旬頃からであり、20日午後1時時点の3時間平均では、当国観測史上最高の値である371  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を観測した。
- ・今年には特に濃度が高いが、Hazeは例年5月～10月までの南西季節風が吹く時期に観測される。
- ・昨年は、今年に比べると数値は低いですが、6月から9月までの間、断続的にHazeの影響が観測された。したがって、今年の場合も9月もしくは10月までHazeの影響が続くことが十分考えられる。

## 対策

- ・Hazeの影響は、発生場所の状況、風向き等により大きく影響することが考えられることから、シンガポール国家環境庁がホームページ上で公表している濃度を確認し、濃度に応じて屋外活動等を控えるなどの対策を取ってください。
- ・外出時にマスクを着用することは、ある程度効果は期待できますが、Hazeの中にはPM2.5 ( $2.5 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下の粒子)と呼ばれる非常に細かい粒子も含まれるため、吸入効果はマスクの性能により、異なることをご留意ください。
- ・職場の対策について、人材開発省が今後、対策を示すとの報道もございますので、事業場におかれましては、人材開発省のHP等をご確認ください。

(照会先)

- PSI濃度( (国家環境庁 (NEA) HP内)  
<http://www.nea.gov.sg/psi/> から、PSI→[PSI and PM2.5 Readings](#)を選択
- Haze濃度基準(国家環境庁 (NEA) HP内Health Advisories based on PSI)  
<http://www.nea.gov.sg/psi/> から、Haze→[Health Advisory for Haze](#)を選択
- Haze Map(気象庁 (MSS) HP)  
[http://www.weather.gov.sg/wip/c/portal/layout?p\\_l\\_id=PUB.1003.538](http://www.weather.gov.sg/wip/c/portal/layout?p_l_id=PUB.1003.538)
- 人材開発省 HP  
<http://www.mom.gov.sg/Pages/default.aspx>
- 日本の環境基準(環境HP内)  
<http://www.env.go.jp/kijun/taiki.html> (「1. 大気汚染に係る環境基準」内)
- PM2.5対策(環境省HP内 PM2.5に関するQ&A)  
<http://www.env.go.jp/air/osen/pm/info/attach/faq.pdf>

在シンガポール日本国大使館 代表:6235-8855